

## 新年特別号

発行/広島県印刷工業組合 発行人/中本 俊之  
広島市西区南観音一丁目1番22号 TEL(082)293-0906 FAX(082)293-0954  
URL : <http://www.hiroshima-pia.jp> E-mail : [h.inkumi@estate.ocn.ne.jp](mailto:h.inkumi@estate.ocn.ne.jp)

# 迎春



### 年頭所感

広島県印刷工業組合  
全日本印刷工業組合連合会

理事長 中本 俊之  
会長 滝澤 光正

### 年男・年女新春エッセイ

中川印刷株式会社  
明生印刷有限会社  
レタープレス株式会社  
株式会社アドプレックス

中川 隆  
青木 幸代  
増田 達朗  
叶内 秀幸

### 『印刷DX推進プロジェクト』始動

### DTP作業 実技・学科試験事前研修

### 『新型コロナウイルス感染症がもたらす経営危機』 に対して今やるべきこと

### 福山支部だより

### 事務局だより

## 『広島護国神社』(広島市中区)

みなさま あけましておめでとうございます。

「1年の計は元旦にあり」新しい年が幸せ多き年となるよう、毎年お参りをされている方も多いかと思います。令和3年の初詣は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、密を避けることで感染の可能性を抑えた参拝となりました。また、初詣の分散を目的とし、「幸先よく新年を迎えられますように」という願いが込められ“幸先詣”も行われたようです。

本年も『いんさつ広島』の紙面を通じ、皆様方にとって有益な情報が発信できるよう、編集員一同努力してまいります。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

## 新年のご挨拶

— 2021年テーマ —

# 印刷のチカラで、新しい日常に彩りを

広島県印刷工業組合

理事長 中本 俊之



あけましておめでとうございます。

印刷業界ならびに関連業界の皆さまが大事なく新年をお迎えになられましたことを、心からお慶び申し上げます。旧年中は組合運営に格別のご支援とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。本年も昨年同様ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

わが国の経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響で大きく落ち込みました。インバウンド需要の減少で輸出が減少し、国内の消費活動も大幅に低下しました。緊急事態宣言の解除後は、外出自粛の緩和などを背景に、景気持ち直しに向けた動きも出始めましたが、年末に向けて再び感染が急拡大する「第3波」で、全国民に我慢を求める雰囲気広がってしまいました。感染拡大の影響で、企業としても、個人としても、多くの人々の生活に何かしらの変化が訪れ、これまでとは違った「新しい日常」を模索した年でもありました。

そこで広島県工組は今年「印刷のチカラで、新しい日常に彩りを」をテーマに掲げました。新しい日常の中にほんの少しでも希望や明るい気持ちが芽生えるような「価値＝彩り」をお届けしたいという思いを込めています。印刷業界に携わる一人一人が印刷のプロフェッショナルとして各職種で力を発揮し、その力を結集して相乗効果を高めることで「印刷のチカラ」はより大きくなります。その力が成長すればするほど、社会への貢献度は上がり、幸せな未来づくりへとつながっていくのだという信念を持って活動しようという決意表明です。

今年度、全印工連は事業計画基本方針で構造改革の必要性を訴えています。その中の具体的な取り組みの一つである「効率の良いプロダクションによる収益改善」のために「デジタルトランスフォーメーション（DX）推進プロジェクトチーム」が設置されました。IT技術を駆使して組合員企業の連携を強化し、これまで以上に各社の差別化や役割を明確にすることで、生産性の向上と効率化を図るのが目的です。各社任せではなく全印工連の取り組みとして改革することで、印刷産業全体の価値を生み出せる仕組みづくりを進めていきます。この改革が進めば、印刷産業が今後も成長し存続する未来が、それぞれの目に見えてくるのではないのでしょうか。

さて、一昨年よりご案内しております「全日本印刷文化典」。2022年の全国大会は49年ぶりに広島で開催される予定でしたが、昨年10月開催予定だった長野大会が延期になったのに伴い、広島大会も2023年に延期となりました。2年後の開催に向けて実行委員一同あらためて士気を高め、広島大会に参加していただく皆さまに印刷の可能性を感じていただける素晴らしい機会となるよう、着々と準備を進めてまいります。

そして広島県工組の一大イベントといえば「印刷産業夢メッセ」。昨年は新型コロナウイルスの影響を鑑み中止しましたが、今年はあらためて16回目の印刷産業夢メッセを9月に開催する予定です。なかなか先の見えない今だからこそ、明日に、未来につながるヒントが得られるような夢メッセを目指し、精一杯取り組んでまいります。

今年こそは新型コロナウイルスも終息すると信じて、笑顔で集えることを心より願い、2021年が皆さまにとって良い年となりますよう祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

## 新年のご挨拶

全日本印刷工業組合連合会  
会長 滝澤光正



新年、明けましておめでとうございます。

旧年中は、当連合会に格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、本年も一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

また、昨年10月、初めてのリモート開催となりました「全印工連オンラインフォーラム2020」では、全国の方々にご視聴いただき、全印工連事業をより一層ご理解賜り、併せて、将来の業界発展に向けての課題や方向性を共有し、確認することができました。これもひとえに、全国の印刷工業組合の役員、組合員、関連業界の皆様のご理解とご協力の賜物と深く感謝を申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大という大きな嵐に見舞われ、日本はもとより全世界の社会経済にリーマンショック時以上の深刻な影響がもたらされました。様々な場面において大きな変化を余儀なくされ、働き方が変わり、産業の立ち位置や姿が変わりました。また、政治やマスメディアなどの日々の風向きにも惑わされ、それに一喜一憂し、「真実」や「本質」を見極めることの難しさを改めて痛感した年でした。

このような状況の中、全印工連では、ブランドスローガンとして「Happy Industry～人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業～」を掲げ、DX（デジタルトランスフォーメーション）や「幸せな働き方改革」を中心とする各種事業を着実に進め、全国の組合員企業の1社1社がHappiness Companyを目指すプロセスを発信し続けてきました。特にDXの推進にあたりましては、プロジェクトチームを新たに立ち上げ、印刷産業全体の生産性向上と高付加価値のサービス提供産業への転換に向けた大きな一歩を踏み出しました。本年も引き続き、各側面からの経営支援を目的とする全印工連の各種事業を積極的に推進することにより、「Happy Industry」へと向かう道を迷うことなく進んでまいりたいと考えております。

新型コロナウイルス感染症拡大の終息にはまだ多くの時間を要すると思われませんが、本年は、産業として、組合として、企業として、この時期だから出来ることを組合員の皆様と共に考え、実行し、この未曾有の環境の中で「新しい印刷産業」のしなやかさと強さ、そして持続的発展を実現するポテンシャルを証明する年にしていきたいと思います。

2021年が皆様にとって明るく希望に満ちた素晴らしい一年となりますよう心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶いたします。



## 年男新春エッセイ



## 還暦男がつぶやく

中川印刷株式会社

代表取締役社長 中川 隆  
(昭和36年生)

新年あけましておめでとうございます。  
平素より大変お世話になりありがとうございます。  
本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。  
今年は5回目の年男にあたり還暦を迎える年となりました。

還暦にあたり、エッセイのご依頼をいただきました。これとってお話するような趣味や得意なものがない私としましては一体何を書けば良いのか…しばらく考えましたが思い浮かばず。まして、コロナ禍で外出もままならない状況で活発な活動ができない時期に…。月並みですがこれまで4回の年男の頃を振り返ることにしました。

私が生まれた昭和36年は、高度経済成長期の真っ只中でした。広島市中町(中区)で生まれました。今思うとかなりの「都会っ子」です。幼い頃の記憶は、日が暮れて家族が呼びに来るまで遊ぶ。という典型的な昔の子どもでした。外で遊ぶことが楽しくて公園で友達と「……ごっこ」遊びをしては、調子に乗り過ぎて、近所のおじさんによく怒られてました。あの頃は他人の子どもにも本気で怒ってくれる怖いおじさんが多くて…飛んで逃げていました。今のように塾や習い事もなくいい時代だったのかもしれませんが。少年時代は、マンガの「巨人の星」と王貞治の影響を強く受けてしまい草野球に夢中でした。毎晩グローブやバットと一緒に布団で寝てました。この頃が1回目の年男12才でした。年男の自覚などなかったと思います。

次の年男までが青春時代真っ盛りで強烈な印象がある時代です。野球ばかりしていたためか…授業が嫌いだったのか…次第に勉強が疎かになりながらも、野球というスポーツのお陰でしょうか…大学まで進学することができました。大学生時代は、憧れの横浜市に移り4年間全寮制の集団生活を体験しました。現実とは違い、古い木造建てのぼろい寮に部員100人が生活し部屋は6畳で「4年・3年・2年・1年」の4人部屋で生活しました。「狭い、汚い、臭い」という環境。おまけに先輩は怖いし下級生の頃は仕事は山ほどあり息が詰まるスタートでした。でも最後4年生の頃には「心地よい、いい匂い」という素晴らしい環境に変わっていました。とても不思議な体験です。住めば都なのでしょうか。この生活のインパクトが強くあり寮生活の習慣が今だに抜けず家族に迷惑をかけていることが多々あるな。と…書いていて思い出して反省もしています。本当に厳しかったのですが今では楽しい青春の思い出です。

社会人のスタートは23才で父親の知人の方のご紹介で東京の印刷会社に就職しました。そこで3年半ほ

ど印刷の仕事を教えて頂きました。当時の印刷業界はフィルム製版などが急速に進化し印刷技術も高度化し需要が増加し注文も増える時期でした。会社もどんどん機械設備が更新され人材も増えて行き「伸びゆく印刷業」という雰囲気がか会社全体に漂っていました。営業マンとして、得意先廻りをして新人の若造ですが、印刷技術の話題など大手企業の年配社員の方も熱心に耳を傾けて興味を示していただいていた。本当にやり甲斐が実感でき名実ともに印刷業界が飛躍を遂げていた時期ではなかったかな。と思います。この頃が2回目の年男でした。都会の一人暮らしで自由気ままな生活をしていたのでしょうか。世の中がどんな時代であったのかも思い出せない…若気の至りです。その後、26才で広島に帰りました。東京の会社で知り合った最愛の奥様と結婚。その後、娘と息子を授かりました。

36才の3回目の年男の年は先代の父親と交代し社長に就任し大きな節目の年になりました。印刷業もデジタル化が本格的に進んできてパソコンと格闘していた頃でしょうか。便利なソフトを覚えて便利になっていけば行くほど仕事は減ってくる。不思議な感覚でした。

4回目の年男の年はおそらく忙しくしていたのでしょう。一瞬で通り過ぎてしまい思い出すような記憶がありません。何かあったかと手帳を調べてみると、子ども中心の生活でした。子どもの成長を見守ることが楽しみで一生懸命でした。これまでの人生の中では一番楽しく充実した時期だったと思います。

そして60才の還暦です。子どもたちも巣立っていきまのでこれから何を楽しみに生きるのか…育ててもらった両親に感謝して還暦に当たりこれからの生き方を考えることにしたいと思います。その昔、桶狭間の戦いに出陣の時に織田信長が「人間五十年 下天のうちをくらぶれば 夢幻の如くなり」という敦盛の一節を謡い舞う場面が有名ですが、“人の世での50年という年月も、下天では一瞬でしかないはかないものだ。一度生を享けて滅びないものなどない”という意味だそうです。私が今生きている長いようで短いような60年など、下天での時の流れと比べると夢や幻も同然であり、これを悟りの境地として自然体で還暦をむかえ文字通り生まれ変わった赤ちゃんのような自分に戻りこの世の無常を生き行こうと思います。

くだらない話ですみません。あとは新型コロナ感染には十分気をつけたいと思います。

これからもよろしくご指導ください。ありがとうございます。

感謝。

## 年女新春エッセイ



## 60年目に思うこと

明生印刷有限公司

取締役 青木 幸代

(昭和36年生)



新年あけましておめでとうございます。

還暦を迎えるにあたり、丑年生まれの方からこの記事が筆耕する権利がプレゼントされました。有難いようなそうでもないような… いきさつはさておき、筆を進めてまいります。

「ろくじゅっさい」完璧におばあちゃんの響き。

ひと廉の品格を備え優しい笑みを湛えた人物像をイメージしていましたが、いよいよその域に到達しつつあるわが身を顧みてガクゼン！全然ちゃうわ！落ち着きはないし、見識も浅い、どう考えたってイメージとは程遠い。違い過ぎる。とはいえ、これが還暦の私。喜怒哀楽の喜と楽が少し多めにやってくることを願いつつ、生活スタイルをこれまでのパタパター辺倒からじっくり時間をかけ丁寧な暮らしができるよう心がけを変えたいと思っています。

さて、うちの会社明生印刷有限公司は、足の不自由だった父が創業した印刷会社です。障がいがある自分が家族を守るという使命を果たすには、どうすべきか考え抜いて選択した創業だったというようなことを聞いた憶えがあります。

長女として誕生した私は、父のもとで事務仕事をし厳しい社会に晒されることなく時を過ごしておりました。縁あって大阪でサラリーマンをしていた広島出身の人と結婚、退職。憧れていた会社員の妻になりました。ところが運命というものと思わぬ形で動き出すもののように…夫が会社を辞めて私の実家で働くという驚きの展開になりました。

両親が大阪に来た時、夫が父と色々話をしているうちにそういう流れになったらしいのです。ただ、父からは入社する夫へ『社長になる覚悟をしとくように』の重たい一言。私は、意図せずして専業主婦に別れを告げることになり、新たなステージへと変わったわけです。

与えられたミッションは、何でも屋。経営と経理と一般事務の違いすら認識できていない私が支える役なんて。。あれこれ思う間もなくここまでやって来た感じです。

営業のサポートから資金繰りまで、さまざまいろいろ。支えられたり支えたり、本当にさまざまいろいろ。自分のしてきたことが会社にとって、また二代目にとって、どれほどの価値があったのか、それは定かではありません。

そういえば代替わりしてから始めたことがあった。会社の前にイーゼルを立てて「ここに印刷会社があるこ

とを知らせよう」と社長からの発案で、私がなにかを書いて貼ることになりました。でも、何を？元々、ちょっとしたイラストを描くことは嫌いじゃなかったこともあり、この案に乗かって楽しみを見つけた！感じでした。画材は、印刷用紙納入時の包装紙。文字は筆、イラストへの色付けは、娘の幼稚園時代のパステルと絵具を用いました。廃品活用、今風に表わすならばリユース。書いてみたのは猫のイラストと言葉。名言や慣用語にツッコミを入れてみたり、私流の解釈を入れてみたり。2015年4月には、会社のホームページに“あしあと”というブログページができ、このページの作者を務めることとなりました。だいたい週一ペースで内容更新。現時点で閲覧数が3万弱。拙い文章や絵をこんなに沢山閲覧して頂くことができて幸せです。

専業主婦から一転、会社の仕事を担うことになったのも、猫の絵を描き始めたのも巡り合わせというものなのかもしれません。

猫好きでイラストを描くことが好きで文章を綴るのが好き！私の好きなことが重なって楽しさが増しています。“さとり猫”という称号で商標登録し、令和1年8月16日正式に私の名として認められました。今週末は何を書こうかな…浮かぶかな…安産の時も難産の日も、楽しくをモットーに創作に励みたいと思います。

会社の暦年数と私の人生。1961年生まれの私と2014年に創立50年を越えたメイセイインサツ。今年は57年目に突入です。どちらもシニア。私の身体は、疲れが抜けにくくなり機敏さが欠けてきたと痛感するこの頃。そして会社はといえば、機動力が鈍ってきたと思う時もちょいちょいアリで、残念ながら『老』を無視できなくなりました。

急激な変化に対応する能力を求められている今、大切に思うのは、壁を越えて繋がることを恐れないこと。そして過去のアタリマエを捨てる勇氣。還暦を目前に控え固くなった身体と頭には厳しい課題ですが、猫に習い、柔らかく、しなやかに苦境を超えて平穏を掴みたい！と願っております。

不安先行でドキドキな幕開けではございますが、皆様にとりまして、佳き日々でありますように祈念いたしております。ありがとうございました。

## 年男新春エッセイ



## 全青協で学び始めて

レタープレス株式会社

代表取締役 増田 達朗

(昭和48年生)



新年明けましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2021(令和3)年がスタートいたしました。私も今年で48歳の年男です。昨年は年初から新型コロナウイルスに世界中が翻弄され、外出自粛による観光・交通業界に大ダメージ、さらに様々な職種の企業に大きな影響を及ぼしました。私たち印刷業界も同様に、イベント自粛や小売業界の景気縮小により印刷物が減少し、少なからず影響を受けました。

今年はこの状況から少しでも早く抜け出すべく、業界・地域はもとより、国、さらには世界レベルで手を取り合って、困難を打破するべく動いていかなければならないでしょう。

ところで、今年の十二支は「丑(ウシ)」です。「ウシ」と言えば、私たちに乳を提供して人の体の大切な栄養素となり、その肉は美味しい料理に姿を変えて私たちの舌を楽しませてくれる、大変ありがたい存在。なんだか少し期待できそうな十二支です。

では、今年の干支は何でしょうか？ 答えは「辛丑(かのと・うし)」です。暦の中で「辛丑」が意味するものは『痛みを伴う幕引きと大きな命の芽吹き』だそうです(引用 歴史学者・村上瑞祥氏)。これだけ聞くと、まだまだ痛みが続きそうな気がしますが、「辛」の文字はシンとも読み、「新」につながるとされています。また「丑」は酪農で人々を助けてくれる牛に準え、「我慢」や「発展の前触れ」と言われています。

これらのことから、今年は「辛い」こともあるけれど、「我慢」すれば「発展」の兆しが見えるのではという前向きな気持ちでいきたいと思います。

ちなみに前回の辛丑の年である1961(昭和36)年にはどんなことがあったのでしょうか？ 調べてみると「NHK朝の連続テレビ小説放送開始」、「ソ連宇宙船ボストーク1号が、ガガーリン飛行士を乗せ地球一周に成功」といった現在につながる出来事のほか、広島では株式会社イズミ(当時はいづみ)設立や広島空港(西区観音)開港といった大きなニュースもありました。

こんな事を書いています、あくまでも干支は昔の

人が考えた暦で、その意味は後付けのようです。しかし、まんざら外れてもいないのが干支の怖いところ(昨年の干支「庚子(かのえね)」の年は、混乱の年とされています)。心の片隅に干支の意味を思いながら、日々の仕事や生活を推し進めていきたいと思っています。

昨年から青年部会の会長をお引き受けしておりますが、就任早々新型コロナウイルスで活動が制限され、会員の皆さんには会員のメリットがあまり提供できておらず申し訳ないと思っています。定期的に例会は開催できませんでしたが、昨年の11月21日に、中国ブロック協議会を広島で開催することができたのは個人的に良い経験となりました。「デザイン思考」をテーマに全青協メンバーで学びを深めていき、そして各地区ブロックで勉強会を開くという一連の流れは任期一年目の私にとって手探りの準備でしたが、終わってみると今後の実務に活かせそうです。

デザイン思考は、「問題解決の手法ではなく、問題発見の手法」と聞いた時はハッとした記憶があります。私たちの業界でも、お客様の困りごとを聞いて、解決法を考えていくスタイルが増えてきていると思います。印刷周辺にある業務を取り込んでいこうという考え方です。しかし、自社で取り組んでいて実感することは、お客様の頭在化している困りごとの解決に私たちが取り組んでいると場合によっては、例えば元々お客様がやっていた仕事の場合、お客様自身で取り組んだ方がコスト安という話しになり、利益を出しづらいサービスになりがちです。学び始めたデザイン思考のステップを活用して、お客様がまだ気が付いていない困りごとをもし私たちが発見できたなら、安易な値下げ、過度な価格競争から少し離れた所で、やりがいのある仕事ができるような気がします。

青年部の会員は少しずつ定年を迎え、確実に減少しています。今年は20、30代の方たちが思わず参加してみたい魅力的な勉強会を青年部メンバーと一緒に作る年にしたいです。

## 年男新春エッセイ



## 一喜一憂せず、牛の如く確実に

株式会社アドプレックス

労働組合 執行委員長 叶内 秀幸

(昭和48年生)



新年明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は国内において、新型コロナウイルス感染症の拡大により、緊急事態宣言が発令され不要不急の外出自粛やマスクの着用、3密の回避といった「新しい生活様式」が求められるなど、私たちの生活や仕事に多大な影響を受けた年となりました。

気が付けば今年は「年男」。学生時代にラグビーに熱中し体を鍛えていたので、歳を取っても体は大丈夫と自信を持っていましたが、その自信も40歳を過ぎた辺りから見事に打ち砕かれることになりました。ちょっと走ればふくらはぎの肉離れ。重い荷物を持てばぎっくり腰。とどめは、右肘が痛くなり病院で診察をしてもらうと、やったこともないのに「テニス肘」と診断される始末。冷静に考えれば48歳、無理はできない歳になったことを痛感しています。皆さまも今年一年を健康にお過ごしくださいますよう、くれぐれもご自愛ください。

現在、私は労働組合の執行委員長を仰せつかっています。私が入社した当時の委員長といえば、大人の貫禄があり、何事にも動じない方々だったと記憶していますが、まさか、自分がその立場になるとは夢にも思っていませんでした。就任から2年半が過ぎ、周りの仲間にも支えられてなんとかやっていますが、実は私は「出戻り委員長」と呼ばれています。というのも、委員長に就任する以前にも執行部に在籍していたことがあり、10年間執行委員（最後は副執行委員長でした）を務めたのちに、一度執行部を退任しました。退任後は肩の荷が下り、安堵の日々を過ごしていました。

そんな中、18歳の新入社員が私の部署に配属されてきました。（今思えばこのあたりから雲行きが怪しかったと自分では感じています）その新入社員に「これから社会人を長くやっていくなかで、あなたの目の前に、面倒でやりたくないことがたくさんぶら下がってくる。

けれど、その面倒でやりたくないことに敢えてトライしてほしい。最初は嫌で仕方ないかもしれないが、5年後・10年後に、あの時やってよかったと思う日が必ず来るから」なんて偉そうなことを言ってしまったのです（これと同じことを当時17歳の娘にも偉そうに言っていました）。その発言から数日後に、私自身の目の前に「面倒で、やりたくないこと」がぶら下がってくるとは、...

前体制の執行委員8名の内、6名が退任することになり、残った2名から「組合に戻ってほしい。委員長として」と話がありました。数日前に他人に偉そうなことを言ったのに、自分の目の前にぶら下がったら逃げなのか？頭の中に新入社員と娘の顔が浮かび、2人には嘘を付けないと「覚悟」を決めました。未だ「やってよかった」と実感するところには至っていませんが、2度目の組合退任を迎える時までには、胸を張って「やってよかった」と言えるように今後も努力していきたいと思っています。

今回「年男エッセイ」に寄稿する機会を頂き、丑年生まれの特徴を色々と調べてみました。

- ①物事をじっくりと考えられる
- ②忍耐強い
- ③判断力に優れている
- ④意志が固く自信に満ち溢れている

などどれを見ても良いことばかりですが、あまり私に当てはまらないような気がします。自分自身を何かのパターンにあてはめて考えるのではなく、何事に対しても覚悟をもって行動することを繰り返していけば、その結果が特徴として現れてくるのかもしれませんが、日々の出来事に一喜一憂せず、牛の如く確実に一歩ずつ前進していきたいものです。

最後になりましたが、2021年が皆様にとって希望に満ち溢れた素晴らしい一年になりますよう心より祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

## あけましておめでとうございます

令和3年元旦

<p>アート印刷株式会社</p> <p>代表取締役社長 細川 俊介</p> <p>福山市南本庄1丁目10-38 〒720-0077 電話(084)924-5588</p>	<p>株式会社 アドプレックス</p> <p>取締役社長 隅川 通治</p> <p>広島市中区舟入南1丁目1-18 〒730-0847 電話(082)232-4286</p>	<p>株式会社 石井印刷所</p> <p>代表取締役社長 石井 千之明 専務取締役 原田 明</p> <p>東広島市西条岡町9-17 〒739-0016 電話(082)423-2173</p>
<p>イチカワ印刷株式会社</p> <p>代表取締役 市川 哲也</p> <p>府中市元町422-2 〒726-0003 電話(0847)45-4358</p>	<p>今谷印刷株式会社</p> <p>代表取締役社長 蔵田 和雄</p> <p>東広島市西条町寺家6608 〒739-0041 電話(082)422-2714</p>	<p>株式会社 インパルスコーポレーション</p> <p>代表取締役社長 後藤 智治</p> <p>広島市安佐南区相田1丁目16-27 〒731-0141 電話(082)878-6000</p>
<p>大東印刷株式会社</p> <p>代表取締役 大東 弘典</p> <p>三原市皆実4丁目5-30 〒723-0052 電話(0848)62-3389</p>	<p>有限会社 加計印刷</p> <p>取締役社長 大倉 啓司</p> <p>山県郡安芸太田町大字加計3444-1 〒731-3501 電話(0826)22-0568</p>	<p>金正印刷株式会社</p> <p>代表取締役 薬師寺 尚志</p> <p>広島市南区段原南1丁目27-7 〒732-0814 電話(082)253-3301</p>
<p>株式会社 原色美術印刷社</p> <p>代表取締役社長 田尾 直也</p> <p>広島市西区商工センター7丁目5-48 〒733-0833 電話(082)277-3030</p>	<p>佐々木印刷株式会社</p> <p>代表取締役 佐々木 孝朗</p> <p>三次市東酒屋町306-55 〒728-0023 電話(0824)62-3539</p>	<p>瀬戸内海印刷株式会社</p> <p>社長 大田 恒三</p> <p>広島市佐伯区石内北5丁目1-8 〒731-5109 電話(082)554-5500</p>
<p>株式会社 Taisei</p> <p>代表取締役 吉岡 ゆかり</p> <p>本社 広島市安佐南区祇園3丁目24-17 〒731-0138 電話(082)875-3232 東京営業所 東京都千代田区霞ヶ関1-4-1 日土地ビル2F 〒100-0013</p>	<p>中国印刷株式会社</p> <p>代表取締役社長 岡 畠 鉄也</p> <p>廿日市市大野387番地3 〒739-0422 電話(0829)50-2838</p>	<p>当田印刷株式会社</p> <p>代表取締役 当田 信幸</p> <p>呉市阿賀南2丁目9-47 〒737-0004 電話(0823)71-7762</p>
<p>有限会社 トータルワーク</p> <p>代表取締役 大道 綾彦</p> <p>広島市西区中広町2丁目24-5 サンコーポ中広205 〒733-0012 電話(082)234-2133</p>	<p>中川印刷株式会社</p> <p>会長 中川 仁隆 代表取締役社長 中川 隆</p> <p>広島市西区横川町2丁目8-5 〒733-0011 電話(082)291-3841</p>	<p>株式会社 中本店</p> <p>代表取締役 中本 俊之</p> <p>広島市中区東白島町13-15 〒730-0004 電話(082)221-9181</p>
<p>株式会社 ニシキプリント</p> <p>代表取締役 宮崎 真</p> <p>広島市西区商工センター7丁目5-33 〒733-0833 電話(082)277-6954</p>	<p>株式会社 沼田総合印刷</p> <p>代表取締役 丸林 智行</p> <p>広島市安佐南区沼田町阿戸657-1 〒731-3271 電話(082)839-2500</p>	<p>有限会社 花田印刷所</p> <p>代表取締役 花田 一弘</p> <p>広島市中区光南6丁目2-6 〒730-0825 電話(082)243-2062</p>
<p>広島印刷株式会社</p> <p>代表取締役 小下 恵壮</p> <p>広島市西区商工センター7丁目5-4 〒733-0833 電話(082)277-6050</p>	<p>有限会社 広島入力情報処理センター</p> <p>代表取締役 玉野 佳子</p> <p>広島市東区矢賀新町1丁目6-14 〒732-0044 電話(082)510-1511</p>	<p>株式会社 広瀬印刷</p> <p>代表取締役 瀬尾 淳</p> <p>広島市西区中広町 3-3-12 〒733-0012 電話(082)232-2238</p>

<p>福山エビス印刷株式会社</p> <p>代表取締役 小田 芳正</p> <p>福山市東川口町1丁目5-5 〒720-0821 電話(084)954-2200</p>	<p>株式会社 文化社</p> <p>代表取締役 重本 正哉</p> <p>広島市西区商工センター7丁目5-56 〒733-0833 電話(082)277-2661</p>	<p>松本印刷株式会社</p> <p>代表取締役 松本 仁志</p> <p>廿日市市下の浜 5-12 〒739-0433 電話(0829)55-2290</p>
<p>明生印刷有限会社</p> <p>代表取締役 青木 博</p> <p>広島市中区舟入川口町18-19 〒730-0845 電話(082)231-9778</p>	<p>モンデン化成株式会社</p> <p>代表取締役 田頭 正芳</p> <p>福山市神辺町道上2891-1 〒720-2104 電話(084)960-0345</p>	<p>株式会社 ユニックス</p> <p>代表取締役 宇都宮 公徳</p> <p>社長</p>
<p>株式会社 ユニバーサルポスト</p> <p>代表取締役 喜瀬 清</p> <p>社長</p> <p>広島市西区商工センター7丁目5-52 〒733-0833 電話(082)277-5588</p>	<p>株式会社 呉精版印刷</p> <p>代表取締役 高山 順子</p> <p>社長</p> <p>呉市築地町5-4 〒737-0822 電話(0823)22-5011</p>	<p>株式会社 三丸シール印刷</p> <p>代表取締役 須寄 竜二</p> <p>広島市中区舟入川口町2-35 〒730-0845 電話(082)232-5469</p>
<p>三和総合印刷株式会社</p> <p>代表取締役 近江 弘至</p> <p>福山市曙町6丁目1-11 〒721-0952 電話(084)953-1969</p>	<p>重田印刷株式会社</p> <p>代表取締役 重田 耕作</p> <p>府中市本山町10530-229 〒726-0001 電話(0847)41-2226</p>	<p>至誠堂印刷株式会社</p> <p>代表取締役 國光 俊博</p> <p>広島市中区猫屋町8-26 〒730-0852 電話(082)232-6111</p>
<p>有限会社 新洋社印刷所</p> <p>代表取締役 島田 星平</p> <p>広島市西区観音町4-14 〒733-0031 電話(082)232-3348</p>	<p>セイコービジネス株式会社</p> <p>代表取締役 宇都宮 公徳</p> <p>社長</p> <p>呉市郷原町4010-11 桑畑工業団地 〒737-0161 電話(0823)77-1122</p>	<p>第一美術印刷株式会社</p> <p>代表取締役 小下 博史</p> <p>広島市西区中広町1-19-10 〒733-0012 電話(082)231-8165</p>
<p>有限会社 泰平紙業</p> <p>代表取締役 角野 壽男</p> <p>広島市西区商工センター7丁目5-29 〒733-0833 電話(082)277-4301</p>	<p>東光印刷株式会社</p> <p>代表取締役 小倉 裕巳</p> <p>社長</p> <p>広島市西区商工センター7丁目5-15 〒733-0833 電話(082)501-0780</p>	<p>株式会社 ハイマン インターナショナル</p> <p>代表取締役 ハイマン ブライアン</p> <p>福山市沖野上町2-13-2 〒720-0825 電話(084)928-3544</p>
<p>広島中央印刷株式会社</p> <p>代表取締役 田村 治重</p> <p>社長</p> <p>広島市中区国泰寺町1丁目5-18 〒730-0042 電話(082)241-9291</p>	<p>株式会社 ひろみ</p> <p>代表取締役 増原 智子</p> <p>広島市安佐南区長束5丁目5-10 〒731-0135 電話(082)237-1687</p>	<p>二葉印刷有限会社</p> <p>代表取締役 佐藤 大悟</p> <p>社長</p> <p>本社 福山市霞町3丁目4-26 〒720-0812 電話(084)922-4785 工場 福山市山子町5丁目29-19 〒720-0092 電話(084)951-2124</p>
<p>平和印刷株式会社</p> <p>代表取締役 河上 誠司</p> <p>社長</p> <p>庄原市板橋町324-7 〒727-0014 電話(0824)72-1145</p>	<p>株式会社 ポップジャパン</p> <p>代表取締役 熊本 卓司</p> <p>社長</p> <p>広島市安佐南区伴南2-5-19-26 〒731-3168 電話(082)811-8500</p>	<p>株式会社 有文社</p> <p>代表取締役 中野 博文</p> <p>社長</p> <p>相談役 平地 睦則</p> <p>広島市中区光南3丁目5-6 〒730-0825 電話(082)246-1191</p>
<p>レタープレス株式会社</p> <p>代表取締役 増田 達朗</p> <p>広島市安佐北区上深川町809番地の5 〒739-1752 電話(082)844-7500</p>	<p><b>謹賀新年</b></p> <p>本年もよろしくお願いたします</p> <p>令和3年 元旦</p> <p>広島県印刷工業組合 事務局</p>	

## 我々の身近に迫ってきた『印刷DX推進プロジェクト』始動

令和版構造改善事業の中心事業である『印刷DX推進プロジェクト』が、国の助成金事業として承認され、スタートすることとなりました。現状の印刷産業の課題である低収益性からの脱却策として、産業全体の生産性向上を図るためのプロジェクトとして、組合員同士の生産協調・生産連携を実現するための事業です。

### DX(デジタルトランスフォーメーション)の定義

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

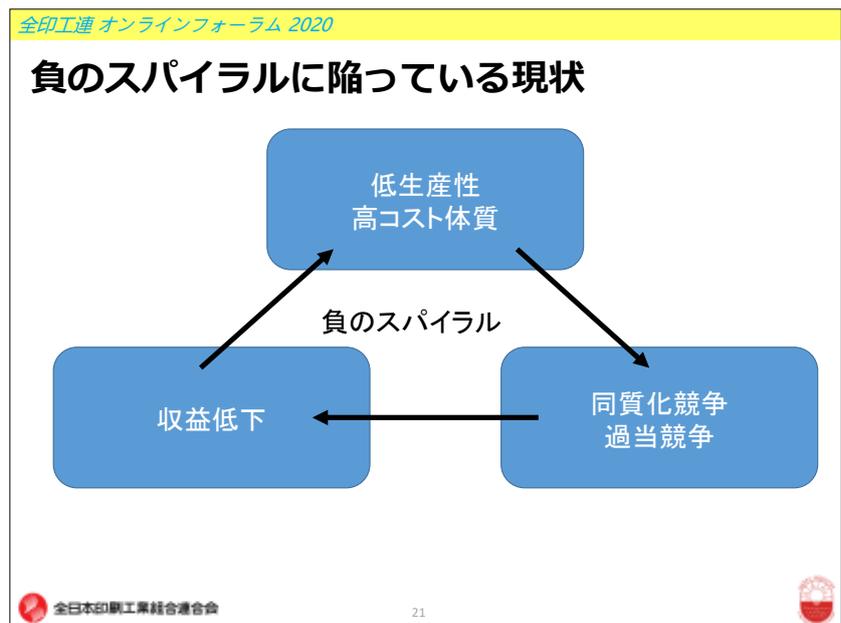
以下、本年10月に行われた“全印工連オンラインフォーラム2020”にて、DX推進PT・委員長 福田浩志氏が『印刷産業の未来を拓くデジタルトランスフォーメーションとは』について説明された要旨を掲載します。

### 印刷産業におけるDXとは

デジタル化やデジタル技術とデータの活用により、印刷産業が抱える諸問題を改善し、生産の効率化やビジネスモデルの変革を促進することで、印刷産業全体の構造改革をもたらし、印刷産業が光り輝く産業として変貌を遂げ、HAPPY INDUSTRY となること。

### 印刷産業の現状

メディアが多様化することにより、印刷需要が減少しマーケット縮小している。また、過剰設備による供給過剰が設備稼働率を悪化させ、営業利益率を低下させている。それと同時に経営者の高齢化・後継者不足も重なり、印刷産業の社会的地位が低下している。





# (有)石井製本所

〒734-0025 広島市南区東本浦町15番8号  
TEL (082) 282-5027  
FAX (082) 282-5270

無線トジ

上製本

手帳

中トジ

カレンダー

各種折り

### 印刷産業の底上げが必要

地域の様々な企業連携を模索する中で、各社の得意分野をもう一度見つめ直し、DX ネットワークを活用することによって、稼働情報を共有し、管理コストの見直しにより、収益向上を目指す。

全印工連 オンラインフォーラム 2020

### DXによってもたらされる未来

構造改善によりめざす業界のすがた

全日本印刷工業組合連合会

### 印刷産業が DX を導入する目的

生産性向上・付加価値創出を目指し供給過剰を解消する。また、同質化競争から脱却し、高付加価値サービス提供産業への転換を図る。

全印工連 オンラインフォーラム 2020

### 個々の経営資源を得意分野に集中すれば

付加価値額を増大させ情報サービス産業へ

印刷産業全体を成長させるには、小規模サービス・製造併用型の企業を、小規模サービス特化型に移行させ、製造は大規模高生産能力型の企業に任せ、産業全体としての生産性を向上させ、付加価値の源泉を育成していくことが必要

全日本印刷工業組合連合会

**MORISAWA PASSPORT**

メーカーの枠を超えた統合フォントパッケージ。より豊かな文字環境を実現。

製品に関する詳しい情報は [www.morisawa.co.jp](http://www.morisawa.co.jp)

MORISAWA FONT

**Duplo**

from print to documents

**デュプロ株式会社 広島支店**

広島市西区南観音5-14-6  
TEL 082-295-0022

### 目指すべき印刷業のDXとは

印刷業におけるDXとは、単なるデジタル化ではなく産業全体を発展させていくためにデジタル技術をいかに活用していくかということです。そのためには『協業』と『生産性の集約』が必要であり、それを実現するのが『印刷業のDX』です。自社の強みを最大限に活かし経営資源を集約し、高付加価値を顧客に提供するビジネスモデルの会社『サービスプロバイダー』と設備投資し製造に特化するビジネスモデルの会社『ファクトリー』へ変化することが必要です。そのためには、DXによる全般的な見える化が必須となります。

全印工連 オンラインフォーラム 2020

### 印刷版DXのイメージ

印刷版DXネットワークには、大小規模様々な業態の印刷会社が参画し、それぞれの強みをシェアしあう場となる。DXシステムにより、印刷物の仕様、納期、デリバリーなどの要件を入力すると、可能な組み合わせと金額が表示される。製造側は受注可能金額を設定しておけば受注業務が自動化される。もちろん手動での設定もでき、キャンペーンなどの対応も可能。将来的には製本・加工、運輸などの事業者も参加できるビジネスアライアンス。

全日本印刷工業組合連合会 19

### 全印工連が提供するDXシステム

- ※経営の見える化のための  
基幹業務システム  
(MIS : Management Information System)
- ※付加価値創造のための  
組合員間受発注システム  
(JSP : Job Sharing Platform)
- ※生産性向上のための  
生産管理システム  
(JWF : Job Workflow System)

全印工連 オンラインフォーラム 2020

### 全印工連DXシステム概要

サービスプロバイダー

ファクトリー

全日本印刷工業組合連合会 26

## 断裁機と オートカッティングシステム

**株式会社 勝田製作所**

本社 〒536-0014 大阪市城東区鳴野西3-3-43  
TEL06-6961-3945

勝田機械販売部 〒135-0041 東京都江東区冬木2-1-4 (冬木ビル4F) ☎03-5245-1555  
福岡営業所 〒811-1255 福岡県那珂川市恵子1-17-4 02 ☎092-952-7111  
四国営業所 〒760-0080 高松市木太町1-6-7 9番地 ☎087-861-7773

## ROBOCUT SYSTEM

コンピューターカッターを中心とする  
給排紙省力化システム

# イトーテック株式会社

大阪支店  
〒577-0022 東大阪市荒本新町3-29  
TEL(06)6618-5335 FAX(06)6618-5337

## DX導入に向けて

各社 IT 化の実装を基盤に、小規模事業者にも導入可能な MIS による経営管理と、各社共通フォーマットの生産管理システムを開発し、共同生産参加企業のネットワークを構築する。参加各社の顧客接点強化が必須であり、産業全体としてソリューションサービス産業化に方向転換し、ワンストップサービス・高付加価値サービスが提供できる課題解決型企業への変革を目指す。

全印工連 オンラインフォーラム 2020

## DX推進プロジェクトのタイムライン

2020年度

2021年度

2022年度

2023年度～

## DX推進プロジェクト第1期

目標: 試行に必要なシステムの完成  
生産性向上の目標設定

全国モデル地区での試行(10地区程度)

目標: 本稼働に必要な要件の整理  
生産性向上のモニタリング

## DX推進プロジェクト第2期

目標: 生産性目標に対する仮説検証  
本稼働に必要なファシリティの整備とシステム改修

全国での説明会  
開催・募集

成長のスパイラルへ

本稼働



印刷 DX についての詳細は、全印工連オンラインフォーラム 2020 をご参照ください。

YouTube にて詳しく解説されています。

<https://www.aj-pia.or.jp/of2020/>

## 広島版DX座談会が一冊の冊子に

去る12月7日(月)に全印工連より福田・江森の両氏をお迎えし、県工組よりパネラーとして田尾・宮崎・田頭氏が参加し、5名によるDX座談会を行いました。全印工連が提唱する印刷版DXについて、広島県工組を代表した若手経営者がそれぞれの立場でその想いをぶつけ、本音で語った一時間半を一冊の冊子にまとめ、組合員の皆様方に配布する予定です。今後の印刷産業発展の一役を担えることを願っての発刊となります。組合員の皆様方も発刊を楽しみにお待ちください。



福田・江森・田頭・田尾・宮崎氏によるDX座談会

## DTP作業 実技・学科試験 事前研修

去る 12 月 10 日(木) 9 名の受講者を迎え、午前中に講師の宮本氏による実技研修、また、午後からは講師の有賀氏による学科研修が行われました。9 名の受講者は、来る 2021 年 1 月 24 日(日)と 2 月 7 日(日)に行われる国家試験である『技能検定プリプレス職種』合格に向けて、日々の仕事とは異なる環境の中、真剣に受講されていました。受験される皆様方のご健闘を心よりお祈り申し上げます。



## 『新型コロナウイルス感染症がもたらす経営危機』に対していまやるべきこと

下記の通り、山田コンサルティンググループ株式会社による解説が詳しく掲載されています。この機会にぜひ一度ご覧いただき今後の経営に活かしていただけるようご紹介させていただきます。

- ・業績・資金繰りへの影響見極め
- ・危機対応策の検討
- ・コロナ関連融資制度・金融支援パッケージについて
- ・雇用調整助成金について
- ・新型コロナウイルス感染症緊急経済対策における税制措置（予定）
- ・（参考）各社の対応

[https://www.ycg-advisory.jp/assets/pdf/covid-19\\_report0511.pdf](https://www.ycg-advisory.jp/assets/pdf/covid-19_report0511.pdf)

## 『drupa2021』中止を決定

2020 年 6 月開催予定であった“drupa2020”は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、3 月の時点で開催延期が決定されていました。新たな開催日程を 2021 年 4 月 20 日～30 日までの 11 日間として準備が進められていましたが、この度、正式に中止が発表されました。代替案として“virtual drupa”と題したデジタルイベントを開催することも発表されました。

## 『令和2年度 印刷業経営動向実態調査』にご協力ください

現在、全印工連では「令和 2 年度印刷業経営動向実態調査」を実施中です。本調査は中小印刷業の経営動態・経営数値を的確に把握し、経営戦略の決定に資することを目的として実施しており、その調査結果は組合事業を行う上での参考資料として役立てております。回答受付は令和 3 年 1 月 31 日(日)までとなっております。組合員のみなさまのご協力をお願いします。

令和2年度印刷業経営動向実態調査			
経営動向実態調査			
1. 対象期間(直近の決算期間を記入ください)			
最近決算期	-	年	月 (令和元年度決算の年月をご記入ください)
2. 就業数			
印刷従業員	も	人	
文書係員	も	人	
送付係員(ポスト・配達等)	も	人	
印刷業者数	も	人	
3. 部門別就業数			
①プリプレス	印刷前工程(DTP・製版・刷版)	も	人
②プレス	印刷工程(オフセット・デジタル)	も	人
③ポストプレス	印刷後工程(製本・打建・折・折り・糊せ工程)	も	人
④工場	アセンブル(組立)・梱包・倉庫・物流・配送	も	人
⑤営業		も	人
⑥事務(経理・庶務含む)		も	人
⑦デザイン	デザイン・イベント企画・販促・通販・WEB	も	人
⑧役員		も	人
⑨従業員数合計		も	人

「福山支部12月例会」

各社の取組みなど近況について

12月3日(木)、福山支部価値組委員会の12月(第208回)例会を開催しました。例年だと望年例会だったのになあ。まあ今年は通常例会が開催できるだけありがたい事なのかもしれませんね。

コロナ禍でいろんな事が不自由になっている環境の中でも、メンバーの皆さんがいろいろ工夫されておられたり、考えられていることについて、事例とか取組をいっぱい聞かせていただきました。

面白かった。元気が出た。自分の所に应用できるかな?あるいは、コレとうちのアレを組み合わせることが出来たら面白いけど、、、とか。いろいろ考えました。

オンラインでの会合も増えてきていますし、状況に

よっては練習がてらオンライン開催もアリかとも思いますが、やはりリアルでの『熱量』はすごいなと感じました。

セミナーやイベントは開催しづらい状況ですが、密にならないようなカタチで、皆さんと話が出来る場はこれからも持ちたいと思っています。

なかなか厳しい時期ですが、こうやって月に一度集まって、共有することで、刺激やヒントをお互いに情報交換しながら、自社の仕事のヒントやモチベーションアップに繋がればと思っています。ありがとうございました。

(小田)



事務局だより

◎組合のうごき

12月	7日	座談会「DX活用法」	印刷会館
	8日	環境労務委員会	東京
	10日	産業戦略デザイン室会議	東京
	11日	理事長会議	岡山

※1月の新年互礼会はいずれも中止になりました。

◎事務局の異動

12月1日より事務局でお世話になっております浅田英史と申します。世の中から必要とされる印刷産業を目指し、組合員の皆様方と一緒に前進していきたいと思っております。今後ともご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。



FUJIFILM  
Value from Innovation



印刷の新たな道を、共に拓く。

「新しい日常」の中で、印刷はどんな力を発揮できるのか。

人々にどんな価値を提供できるのか。FFGSは皆さまと共に考え、

さまざまな可能性にチャレンジしていきます。

Value from Innovation



# For a Vibrant World

未来が色鮮やかであり続けるために。

私たち東洋インキグループは、すべての生活者・生命・地球環境がいきいきと共存する豊かで色鮮やかな世界の実現に貢献します。

**TOYOINKGROUP** 東洋インキ中四国株式会社

〒730-0015 広島市中区橋本町10-6 広島NSビル11階 Tel:082-511-3411 Fax:082-511-1601 [www.toyoinkgroup.com](http://www.toyoinkgroup.com)

SCREEN

謹賀新年

## オンライン校正で働き方を変える!



Web ポータルシステム

**EQUIOS Online**

株式会社 **SCREEN** GP ジャパン

中国営業所/082(264)6451 〒732-0824 広島県広島市南区的場町一丁目2-21 広島第一生命OSビル  
 本社/03(5621)8266(代) 〒135-0044 東京都江東区越中島一丁目1-1 ヤマトネ深川1号館

[詳しくはこちら▶](#)

